

人体の構造と機能及び疾病

《担当者名》 柳生 一自(kyagyu@hoku-iryo-u.ac.jp) 下村 敦司(リハ)

【概要】

前期開講の「人体の構造と機能及び疾患」に引き続き、人体の正常構造と機能を学習する。また、心理学的支援が必要な代表疾患の成り立ちや特徴について学ぶ。

【学修目標】

心の問題とそれを原因とする身体的問題を生物学的に理解するため、正常な人体構造と機能さらに疾患の基礎知識を習得する。

脳神経系の構造と機能について説明できる。

感覚器系の構造と機能について説明できる。

生殖とライフサイクルについて説明できる。

がん・難病等の心理学的支援が必要な代表的疾患について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	脳神経系	<ul style="list-style-type: none"> ・神経細胞の構造と機能を学ぶ。 ・中枢神経系の微細構造を学ぶ。 ・中枢神経系の分類と構成を学ぶ。 ・大脳皮質の構造と機能を学ぶ。 	下村 敦司
2	脳神経系	<ul style="list-style-type: none"> ・中枢神経系の神経線維を学ぶ。 ・大脳辺縁系の構造と機能を学ぶ。 ・大脳基底核の構造と機能を学ぶ。 ・間脳の構造と機能を学ぶ。 ・小脳の構造と機能を学ぶ。 	下村 敦司
3	脳神経系	<ul style="list-style-type: none"> ・大脳の動脈灌流域を学ぶ。 ・記憶について学ぶ。 ・情動について学ぶ。 ・意識と睡眠について学ぶ。 	下村 敦司
4	脳神経系	<ul style="list-style-type: none"> ・末梢神経系の分類と構成を学ぶ。 ・脳神経の構造と機能を学ぶ。 ・脊髄と脊髄神経の構造と機能を学ぶ。 ・自律神経系の構造と機能を学ぶ。 	下村 敦司
5	運動	<ul style="list-style-type: none"> ・運動路の構造と機能を学ぶ。 ・大脳基底核が関わる運動調節を学ぶ。 ・小脳が関わる運動調節を学ぶ。 ・反射弓の構造と反射の機能を学ぶ。 ・運動路の障害と所見について学ぶ。 	下村 敦司
6	感覚器系	<ul style="list-style-type: none"> ・嗅覚器の構造と機能を学ぶ。 ・視覚器の構造と機能を学ぶ。 ・表皮の構造と機能を学ぶ。 ・表在感覚器の構造と機能を学ぶ。 ・深部感覚器の構造と機能を学ぶ。 	下村 敦司
7	感覚器系	<ul style="list-style-type: none"> ・味覚器の構造と機能を学ぶ。 ・聴覚器の構造と機能を学ぶ。 ・平衡覚器の構造と機能を学ぶ。 	下村 敦司
8	ライフサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠から出産までの各過程について学ぶ。 ・小児の発育の概要について学ぶ。 ・加齢について学ぶ。 	下村 敦司
9	感染症	細菌、ウイルス、寄生虫疾患について学ぶ。	柳生 一自
10	小児の成長と疾患	小児に特徴的な疾患、成長と発達を学ぶ。	柳生 一自
11	加齢と疾患	加齢に密接に関係する疾患について学ぶ。	柳生 一自

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
12	内科疾患の理解	生活習慣病と代表的疾患を学ぶ。	柳生 一自
13	がんの理解	がんと緩和医療を学ぶ。	柳生 一自
14	難病の理解	難病と社会的支援を学ぶ。	柳生 一自
15	脳血管疾患と機能性疾患の理解	脳血管疾患とてんかん、機能性疾患について学ぶ。	柳生 一自

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 100%

試験実施後、多かつた誤りまたは特徴的な問題点があった場合には要点を掲示する。

【教科書】

武田克彦 他 編 「公認心理師カリキュラム準拠 人体の構造と機能及び疾病 第2版」 医歯薬出版 2024年

【参考書】

医療情報科学研究所 編 「からだが見えるー人体の構造と機能ー 第1版」 メディックメディア 2023年

坂井建雄 他 編 「人体の正常構造と機能 改訂5版」 日本医事新報社 2025年

【備考】

1. 授業に関わる連絡、授業資料の配信、学習課題の提示

- ・ 授業に関わる連絡はGoogle Classroomを利用する。
- ・ 資料の配信はGoogle Classroomを利用する。
- ・ 学習課題の提示はGoogle Classroomを利用する。

2. 授業に関する意見交換

- ・ Google Classroomを利用する。

3. 授業の理解度把握アンケート

- ・ アンケートはGoogle ClassroomおよびGoogle Formsを利用する。

【学修の準備】

本科目は覚えることが非常に多い。そのため、予習・復習を欠かさずに行うことが必要である。

予習は、教科書や配布資料をよく読み理解に努める。（80分）

復習は、講義の学習内容を確認して理解できない部分はチェックし、参考書で調べるあるいは担当教員に質問する。（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

D P 3：心理学の基礎やそれらを応用発展させた心理科学と周辺諸科学に関する知識・技術を修得している。

D P 4：公認心理師の活動に関連する知識・技術を修得している。

上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

柳生 一自（医師、公認心理師）

【実務経験を活かした教育内容】

実際の症例を用いて、疾患の概要を補足する。